

西鎌倉モビリティ通信

NISHIKAMAKURA MOBILITY NEWSLETTER

西鎌倉を移動しやすいまちへ

「公共ライドシェア」西鎌倉と大船で実証へ

鎌倉市は5月25日、西鎌倉地区とJR大船駅周辺で「公共ライドシェア」の実証実験を行うための事業費約4500万円を盛り込んだ令和8年度補正予算案を発表した。市議会6月定例会へ提出する。西鎌倉地区ではバスの減便が相次ぐなどしているため、高齢者ら移動に困難を伴う住民の移動手段を確保することで活気ある街づくりを目指す。実証実験は市議会で予算案が可決されれば、今年11月から年末にかけて実施される見通し。

鎌倉市の松尾崇市長は25日の記者会見で「通院や買い物、駅までの移動が大変だという市民の皆さまの声を踏まえ、地域の実情に合った新たな移動手段として実証運行を行いたい」と述べた。

鎌倉市、補正予算案発表

実証運行の概要

時期：2026年11月ごろから年末にかけて60日間
 地域：西鎌倉地区+JR大船駅周辺からの出発限定
 規模：車両5台程度
 形態：「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）」
 運営：鎌倉市が実施主体、タクシー事業者が運行管理、別途運営事業者に包括委託
 利用方法：日中から深夜、アプリを基本に電話も検討
 予算：4546万円（国の助成金含む）
 ※実証結果を検証し、早ければ2027年度に本格導入
 ※必要に応じて別の交通手段も検討

公共ライドシェアとは

政府が2024年から導入を進める、地域の移動手段不足を補う制度。一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶ仕組みで、既に全国600以上の自治体で導入されている。移動手段の確保と地域活性化を両立する切り札として期待される。

連合会に移動手段委員会



新委員会の設置を決定した西鎌倉連合会の定期総会
 〓5月10日、西鎌倉みんなの家

西鎌倉地区の自治会・町内会で構成する「西鎌倉地区町内・自治会連合会」（木下雅幸会長、約5300世帯）は5月10日の定期総会で、「新たな移動手段検討委員会」（通称・モビリティ委員会）を設置した。地域の商店や施設と連携して移動ニーズを掘り起こしつつ、バスやタクシーなど既存交通網を生かして新たな移動ネットワークの構築を目指す。



補正予算案について記者会見する鎌倉市の松尾崇市長 〓5月25日、鎌倉市役所（同市提供）

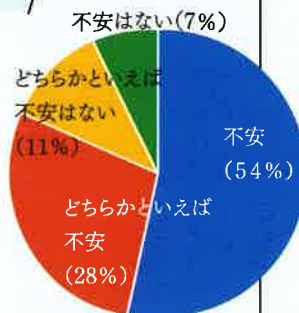
市長説明案件

市議会6月

DATA

西鎌倉住民に、「近い将来（10年後程度）、移動手段に困る不安はあるか」と聞いた。「不安（青）」と「どちらかといえば不安（赤）」を合わせた回答は計82%。別の質問で「現状困っているか」と聞いたところ、青と赤は計35%だった。

※2025年11月、西鎌倉地区対象、アンケート回答総数1432件



発行：西鎌倉地区町内・自治会連合会

地域の個性豊かな9つの自治会・町内会からなる住民主体の課題解決型地域団体

モビリティ委員会
公式サイト



NEXT
NISHIKAMA

移動しやすいまちを目指す西鎌倉の動きを毎月伝えていきます。
 今回は7月初旬発行予定

✉ nishikamakura.union@gmail.com